

科目名	服飾実習 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションプロデュース	期	通年
コース	ファッションプロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	150	作成者	竹内純子

【科目の到達目標】

服作りの基礎知識と技術を習得。服の基本構造の理解。工業用ミシン、アイロンの使い方のマスター  
 基礎的な工業パターンの表パターン・裏パターンを理解し、  
 ブラウス、スカートでは裏無しの縫製方法を習得、ワンピースにおいては、裏地のつくものの縫製方法を習得

【科目の概要】

スカート（中厚木綿地、裏なし）制作 ブラウス（木綿地、裏無し、シャツカラー）制作  
 ワンピース（中肉ウール地他、裏付き）制作  
 創作デザイン 部分縫い（ポケット）小物製作

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	授業内容の説明・実習器具の説明	46・47	ワンピース パターン作成
3・4	ミシン講習会	48・49	シフトドレス トワール組み立て
5・6	小物作り	50・51	裏付き トワールチェック
7・8	雑巾、ティッシュケース	52・53	工業パターン作成
9・10	ペンケース	54・55	裁断
11・12	トートバッグなど	56・57	縫製
13・14		58・59	
15・16	セミタイトスカート	60・61	発表会、撮影会
17・18	トワール組み立て、チェック	62・63	
19・20	工業パターン	64・65	
21・22	縫製	66・67	部分縫 ①パッチポケット
23・24		68・69	②両玉縁ポケット
25・26		70・71	③雨蓋ポケット
27・28	発表会、撮影会	72・73	④片玉縁ポケット
29・30		74・75	テスト
31・32	ブラウス 半袖 シャツカラー		
33・34	トワール組み立て、チェック		
35・36	パターン作成		
37・38	縫製		
39・40			
41・42	発表会、撮影会		
43・44	テスト		
45			

【成績評価方法】

全課題を提出、出席率80%で  
 課題作品60%、試験30%、授業態度10%で評価し60点以上を認定

【教科書・参考書】

テキスト(テーラリングテクニック、スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット)、プリント、縫い方動画  
 縫い方全書、立体式、パターメイキング授業使用製図1, 2 配布プリント(SK,BL,OP,JK)

【教材・教具】

工業用ミシン、職業用ミシン、工業用アイロン、ロックミシン、プレス機、穴かがりミシン、ボタンホール器、各種実習器具  
 ボディ

科目名	パターンメイキング I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	竹内純子

【科目の到達目標】

服の基本構造を理解 基本原型の習得  
基本アイテムのパターンメイキングができる。基本的な工業パターンの理解  
パターンメイキング3級の試験問題に対応できる

【科目の概要】

平面・立体の両面から学ぶ  
各種原型をひく  
基本アイテムの製図をひく

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	概論、授業内容の説明、用具の説明		31 ジャケット83(1/2)
2	割り出し定規の使い方、採寸 タイトスカート原型(実寸)		32 ステンカラー、ショルダー切替 33 ジャケット19(1/2)
3	復習(1/2)、名称、組み立て		34 ステンカラー、アームホール切替
4	パターンチェック		83あるいは19どちらかを組む
5	表地縫い代パターン作成		35 テーラードカラー(実寸)
6	セミタイトスカート①、②(1/2)		36 組み立てる
7	身頃原型(実寸)		37 テーラードジャケット
8	復習(1/2)、名称、組み立て		38 (1/2)
9	カットの移動 (スローバーを動かして)(1/2)		39 スカート(1/2) パネル、ペザント、
10	カットの移動 (コンパスを使用して)		40 ティアード、フレアスカートA、B、C
11	後ろ身頃の補正(1/2)		サーキュラースカート
12	袖原型(実寸) 長袖ストレート、半袖		41 カクテルドレス55(1/2) ウエスト接ぎOP
13	ブラウス(1/2) シャツカラー、半袖		42 トワールで組み立てる
14	組み立てる		43 ブラウス5(1/2) 各自で引く
15	実寸で各自で製図をする		44
16	パターンチェック		45 ジーンズ(実寸)
17	袖(実寸) パフスリーブ ① ②		46 トワール組み
18	①or②どちらかを組む		47 パンツ原型
19	襟(1/2) スタンド、タイ、ピーターパン		48 キュロットスカート原型
20	ピーターパンカラーを組み立てる		49 キモノ袖
21	ステンカラー(実寸)		50 ラグランスリーブ原型
22	組み立てる		51 キッズ原型
23	シフトドレス 6(1/2)		52 メンズ原型
24	横ダーツから縦ダーツへ展開		53 テーラードジャケット
25	シフトドレス 7(プリンセスライン)		54 (実寸 自分のサイズ)
26	(1/2)		55 トワールで組み立てる
27	6か7のどちらかを組み立てる		56 仮縫い
28	各種の襟ぐり(1/2)		57 補正
29	前期試験		58 縫い代付きパターン作成
30	まとめ		59 後期試験
			60 まとめ
			※コマ内で試験

【成績評価方法】

課題提出100%、出席率80%以上を満たしたうえ、  
課題評価60%、試験30%、授業態度10%で評価  
60点以上を認定

【教科書・参考書】

立体式、パターンメイキング I ①②

【教材・教具】

製図用具、トワール、トレッシングペーパー、ハサミ、メンディングテープ、カッター、ボディ、ミシン、アイロン

科目名	ファッションデザイン論 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	60	作成者	佐山孝典

**【科目の到達目標】**

ファッションとその概念が成立したを歴史的、文化的背景を知り、ファッションに対する理解を深める。  
また、アパレル製品のベーシックアイテムのデザインと基礎知識を講義と演習を通して修得する。  
課題のいくつかは、PCによるプレゼンテーションを行う。

**【科目の概要】**

ファッションの概念が成立した背景を歴史、文化など、様々な事象から解説する。  
ベーシックアイテムの概要を知り、現在のファッション商品としてデザインする。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	90分x15コマ	後期
1	ファッションの概念1	16	ファッションの概念4
2	ファッションの概念2	17	ジャケット1
3	スカート1	18	ジャケット2
4	スカート2	19	ジャケット3
5	スカート3	20	ジャケット2
6	ワンピース1	21	ファッションの概念5
7	ワンピース2	22	コート1
8	ワンピース3	23	コート2
9	ブラウス1	24	ファッションの概念5
10	ブラウス2	25	デニム1
11	ブラウス3	26	デニム2
12	ファッションの概念3	27	靴1
13	パンツ1	28	靴2
14	パンツ2	29	帽子/アクセサリ
15	前期試験	30	後期試験

**【成績評価方法】**

出席率10% 課題30% 試験60%

**【教科書・参考書】**

『スタイリングブック』グラフィック社 その他、ファッション雑誌など

**【教材・教具】**

筆記用具 ケント紙 描画用具(ペン マーカーなど) PC  
講義や課題内容をパワーポイントで作成、プロジェクタ等で投影

科目名	ファッション・ドローイング I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	実習80% 講義20%
時間数	60	作成者	高木義隆

**【科目の到達目標】**

デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれるようになる。  
自ら考えたコンセプトに適した表現でデザイン画にできる。

**【科目の概要】**

ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するために絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
1	オリエンテーション(デザイン画の目的)	1 生地・素材の表現① (デニム素材)
2	右脳で描く(記号的認識の排除)	2 生地・素材の表現②
3	線の種類(多様な線)	3 生地・素材の表現③
4	比率・プロポーションアナライズ	4 パーツ・金属の表現①
5	遠近法 立体感・量感 影の着彩	5 パーツ・金属の表現② (レザー+金属)
6	ヌードボディーへの着彩	6 柄の表現
7	デザイン画の着彩・仕上げ	7 柄の入ったデザイン画
8	クロッキー①	8 ハンガーイラスト①
9	クロッキー②	9 ハンガーイラスト②
10	クロッキー③コピックによる量感	10 ハンガーイラスト③
11	ディティール表現	11 メンズデザイン①
12	ディティールの入ったデザイン画	12 メンズデザイン②
13	デザイン画研究・プランニング	13 オリジナルデザイン画①
14	デザイン画選手権	14 オリジナルデザイン画②
15	前期末試験	15 学年末試験

**【成績評価方法】**

出席10% 試験30% 課題60%

**【教科書・参考書】**

『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社

**【教材・教具】**

スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類  
ファッション雑誌など

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	90	作成者	鶴鉄雄

【科目の到達目標】

アパレル業界においての必要なソフトウェアを活用できる人材の育成。

【科目の概要】

様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

ソフトウェアの活用技術と商品企画に繋がる応用技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1,2	自己紹介シート(現在の思いと経緯) メールアカウント設定と課題提出方法		31 アカデミックスキルズとは
3,4	Googleクラスルーム セキュリティについて		32 商品企画 (Illustrator Photoshop Excelの応用)
5,6	// ビジネスメール		33
7,8	イメージマップ基礎(Photoshop) // 写真の切抜きと合成		34
9,10	// イメージマップ完成 // プリント生地作成		35 ターゲット市場分析マップ (Photoshopイメージマップ応用)
11,12	ハンガーイラスト基礎(Illustrator) // ペンツール スカートバリエーション		36
13,14	// ワンピースバリエーション // 写真を下絵に書き起こし		37
15,16			38 コンセプトマップ (Photoshopイメージマップ応用)
17,18	アイテムシート // 表の作成と文字入力		39
19,20	ハンガーイラスト10点 貼付け		40
21,22			41 スタイリングデザイン3点 (Illustratorハンガーイラスト応用)
23,24	Word基礎		42
25,26	Excel基礎		43
27,28			44
29,30	まとめ テスト(イメージマップとハンイラ		45 テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%  
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

教科書 ファッションマーケティング 参考資料はPDFで配布

【教材・教具】

USBメモリ(プリントアウト用のデータ移動に使用)

科目名	色彩・立体構成	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションプロデュース	期	前期
コース	ファッションプロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	山本廣道

**【科目の到達目標】**

色彩の基本理解と課題制作を通して創作の視点と発想力を高める。  
服は造形物であるという概念で立体構成の方法論を服飾に反映させる。

**【科目の概要】**

テキスト「デザインの色彩」の基礎学習と絵具(デザインガッシュ)で課題制作を行ないファッションイメージへ主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題制作を行ない、造形の美しさを表現する。

**【授業計画】** 90分/コマ 前期

- [ 色彩構成 ]
- 1 基本配色Ⅱ『明度・彩度対比の配色』
  - 2 コスチューム・ポーズのデザイン
  - 3 明度・彩度段階の配色
  - 4 基本配色Ⅲ『ファッションイメージとトーン』
  - 5 ファッションモードの資料作成
  - 6 トーンの理解と配色
  - 7 イメージ配色Ⅰ『テキスタイル・イメージ』
  - 8 テキスタイルパターンのデザイン
  - 9 イメージカラーの配色
- [ 立体構成 ]
- 10 『直線構成の山折り・谷折り』
  - 11 『曲線構成の山折り・谷折り』
  - 12 『形のバリエーション制作』
  - 13 幾何学的な形と有機的な形の理解
  - 14 『ユニット(単位形)の集合体』
  - 15 修業テスト

**【成績評価方法】**

課題評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

**【教科書・参考書】**

テキスト『デザインの色彩』日本色研 監修 日本色彩研究所 部分改訂2版13刷 2010年  
資料プリント『美の構成学・バウハウスからフラクタルまで』三井秀樹 著 中公新書 2011年(第10版)

**【教材・教具】**

デザインセット(デザインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗) スケッチブック. 配色カード. 定規. 雲形定規. コンパス等  
カッターナイフ. 定規. コンパス. メンディングテープ. カッティングマット. ケント紙. 接着剤 など

科目名	服飾素材論 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 100% 実習 %
時間数	30	作成者	

**【科目の到達目標】**

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。  
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

**【科目の概要】**

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事は本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 オリエンテーション  
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について  
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維—綿  
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維—麻  
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維—毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維—絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

**【成績評価方法】**

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

**【教科書・参考書】**

・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』、ファッション教育社、2012年  
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	美術史 デザイン史		記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	後期
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	30	作成者	高木義隆

**【科目の到達目標】**

現在のファッションを成立させてきた西洋文化の歴史的背景やデザインの動向を解説し、ファッションデザインの意味を多様な視点で読み解く基礎知識を習得する。

**【科目の概要】**

服飾文化は、西洋社会の文化的な背景と密接に関わりながら変化し、現在のファッションを成立させている。特に高度な消費社会を迎えた20世紀において、西洋の美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながら、ファッションを文化的な現象として体系的にとらえる。

**【授業計画】**

- 90分/コマ
- 1 授業指針説明  
01 ゴシック 02 ルネサンス 03 グーテンベルグ 04 バロック 05 ロココ
  - 2 06 アーツ&クラフツ 07 ジャポニズム 08 ベル・エポック 09 アール・ヌーヴォー
  - 3 10 ユーゲント・シュティール 11 ウイーン工房 12 ドイツ工作連盟 13 キュビズム
  - 4 14 未来派 15 ロシア・アヴァンギャルド 16 ダダイズム 17 モダニズム
  - 5 18 デ・スティール 19 バウハウス 20 アール・デコ 22 インダストリアルデザイン (小テスト)
  - 6 23 インターナショナル・スタイル 24 ミッドセンチュリー 27 CIデザイン 28 スイス・スタイル
  - 7 21 アイソタイプ 25 オーガニックデザイン 26 プロバガンダ 29 オプ・アート
  - 8 30 スカンジナビアン・モダン 31 ウルム造形大学 32 ミニマリズム 33 スペースエイジ
  - 9 34 ブリコラージュ 35 サイケデリック 36 アーキグラム 37 東京オリンピック1964
  - 9 38 ヒプノシス 39 スーパーリアリズム 41 ポストモダニズム 45 メンフィス (小テスト)
  - 10 42 ノーデザイン 43 ユニバーサルデザイン 44 アフォーダンス 46 サステナビリティ
  - 11 47 エコデザイン 48 トマト 49 ドローグ(アノニマス) 50 クリエイティブ・コモンズ
  - 12 51 UI/UXデザイン 52 ソーシャルデザイン 53 コミュニティデザイン 54 インタラクションデザイン
  - 13 55 コミュニケーションデザイン 56 オルタナティブ 57 クオリア 58 ソニフィケーション
  - 14 59 フラットデザイン 60 パーソナルファブリケーション 授業まとめ
  - 15 試験

**【成績評価方法】**

試験50% 課題・小テスト40% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

『絵ときデザイン史』 2015/9/17 石川 マサル (著), フレア (著)  
『デザインの20世紀 (NHKブックス)』 1992/11 柏木 博 (著)

**【教材・教具】**

PC 投影モニター レジューメ



科目名	ファッションビジネス概論 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	塩田千織

**【科目の到達目標】**

アパレル業界の仕組み、消費者行動、商品企画、流通、ビジネス上の基礎知識などを解説し、ファッションビジネス検定3級認定を取得する知識を習得する。

**【科目の概要】**

日本のファッション産業は国際化が激しくなっており、あらゆる部門で国内だけでなく、国際的な視点を持ってビジネスを進める事の出来る人材がさらに求められている。本教科では、ファッションビジネスの基本として、ファッションビジネス知識や商品知識の基礎を中心に講義と演習により修得する。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
1、2	ファッションビジネスの概要	1、2 ファッションマーチャンダイジング I
3、4	自己マップ	3、4 ファッションマーチャンダイジング II
5、6	雑誌分解	5、6 ファッション流通 I
7、8	オケーションマップ	7、8 ファッション流通 II
9、10	ファッション消費と消費者行動 I	9、10 計数管理 I
11、12	ファッション消費と消費者行動 II	11、12 計数管理 II
13、14	アパレル産業と小売業 I	13、14 トレンド感性マップ I
15、16	アパレル産業と小売業 II	15、16 トレンド感性マップ II
17、18	アパレル産業と小売業 III	17、18 ファッションコーディネート I
19、20	ファッションマーケティング I	19、20 ファッションコーディネート II
21、22	ファッションマーケティング II	21、22 ビジネス基礎知識 I
23、24	トレンド分析	23、24 ビジネス基礎知識 II
25、26	アイテム知識 I	25、26 ファッション販売 I
27、28	アイテム知識 II	27、28 ファッション販売 II
29、30	期末テスト	29、30 期末テスト

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[ I ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

科目名	経営学概論	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	前期
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	関根 靖浩

**【科目の到達目標】**

キャリア教育の基礎いわば社会人としての必須教養として、広く社会経済への関心を促すとともに、企業・産業と経済の問題について考える力を涵養することを意図し、ビジネスに必要とされる経営学の入門的知識を修得させる。

**【科目の概要】**

アップトゥデートな話題を紹介しつつ、企業論的視点から、企業行動に関する基礎知識を修得させるとともに、経済主体の一つである企業行動の影響を理解させ、産業の動向や日本経済の実際を広く理解させるよう展開していく。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1 インTRODakション・経営学とは何か
- 2 企業組織と日本的特質
- 3 人的資源管理
- 4 企業の戦略行動－経営戦略1
- 5 企業の戦略行動－経営戦略2
- 6 生産管理
- 7 市場参入とマーケティング1
- 8 市場参入とマーケティング2
- 9 営業管理と意思決定
- 10 会計のしくみ
- 11 財務管理
- 12 サプライチェーンマネジメント・経営情報
- 13 企業の社会的責任・環境経営
- 14 経営における新しい視点とまとめ
- 15 試験

**【成績評価方法】**

試験50% 小レポート・小テスト50%

**【教科書・参考書】**

北中英明 『プレステップ経営学』 弘文堂 2009年

**【教材・教具】**

配布プリント・レジュメ・DVD

科目名	英会話	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		
学年	1	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	衛藤沙耶加

**【科目の到達目標】**

簡単な言葉を用いて英語でコミュニケーションをとることに慣れ、臆せず自分の意思を伝える力を鍛えるべく、日常会話をベースにファッション用語や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる生きた英語を習得する。

**【科目の概要】**

日常会話を中心に英語でコミュニケーションをとる。ファッション関連の語句や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる会話などを習得する。書き取り、音読、暗誦、ロールプレイを使用する。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
1.	挨拶 : 初対面/日常の挨拶いろいろ	16 前期のおさらい・確認
2.	・紹介のしかた ・天候、体調を語る	17 ファッションとショッピング
3.	数字、数量、時間に関する表現	18 五感動詞
4.	ファッション販売の英単語・フレーズ	19 日常会話(応用編)1
5.	レストランにて/ディナーの席で	20 日常会話(応用編)2
6.	エアポート・ホテルなど観光英会話	21 日常会話(応用編)3
7.	英会話に必要な基本の文法1	22 その他使える動詞
8.	英会話に必要な基本の文法2	23 日常会話(キャリア編)
9.	NY研修で行う質問の練習	24 英文メール(手紙)の基本
10.	道案内で使う英会話	25 英会話に必要な基本の文法3
11.	基本動詞(Have/Get/Make/Take)	26 ファッションとテキスタイル
12.	基本動詞(Give/Come/Go/Work)	27 英語のファッションECサイトや雑誌
13.	基本動詞(Put/Keep/Run/Turn)	28 映画鑑賞とレポート
14.	これまでの復習 / 期末テスト対策	29 これまでの復習・テスト対策
15.	期末テスト/ おすすめの教材の紹介	30 期末テスト

**【成績評価方法】**

提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

**【教科書・参考書】**

自作のパワーポイントスライドとプリント

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	海外研修 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッション・プロデュース	期	後期末 7日間
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	1	授業形態	リサーチ90% 講義10%
時間数	15	作成者	佐山孝典

**【科目の到達目標】**

研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャンダイジング等の知識を得る。帰国後、現地の市場をリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

**【科目の概要】**

授業で得たビジネス及びマーケティング的な知識と英会話を基に現地の市場を視察、調査する。また、海外のファッション都市の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1 研修施設での講義受講
- 2 研修先市街のリサーチ
- 3 研修先市街のリサーチ
- 4 研修先市街のリサーチ
- 5 研修先市街のリサーチ
- 6 リサーチレポートまとめ
- 7 リサーチレポートまとめ
- 8 発表

**【成績評価方法】**

研修後のリサーチ課題発表 100%

**【教科書・参考書】**

**【教材・教具】**

筆記用具 カメラ コンピュータなど